

■大倉喜八郎 維新時に鉄砲店を開いて巨利、戦争の度に伸張して大倉財閥を築き、大陸進出・文化事業にも力。

おおくらきはちろう

大塩平八郎乱1837＝ 越後国新発田藩の代々の大名主で苗字帯刀を許された家柄の三男に生まれる。

阿部正弘首座1845＝ 8歳：

孝明天皇・・・1846＝ 9歳：

地方の文化人であった父のもとで学習していたが、

ペリー来航・1853＝16歳： 父が死去、

開国開港・・・1854＝17歳： 母も続いて死去すると、商売で身を立てようと江戸に出て饅餡店店員となる。

安政大地震・1855＝18歳：

働きぶりを見込まれて養子に望まれるも固辞、

蕃書調所・・・1857＝20歳： 独立して、乾物店{大倉屋}を開業。

直ぐに相当の利益を挙げるも、

桜田門外変・1860＝23歳：

開港後の横浜を視察し、

動乱の世の中を見越して、鉄砲取引に着目、

禁門の変・・・1864＝27歳：

薩摩藩士密航1865＝28歳： 鉄砲店に見習いとして入り、

薩長同盟・・・1867＝30歳： 神田和泉橋通に銃砲店を開業した。

明治維新・・・1868＝31歳：

戊辰戦争終・・・1869＝32歳： 危険を犯して津軽藩と鉄砲の大量取引をするなどして販路を拡大するが、

学問のすすめ1872＝35歳： 外国貿易商への転換を図るべく、欧米の経済社会を視察し、

明治6年政変 1873＝36歳： *大倉組商会を設立して外国貿易および用達事業を開始、

佐賀の乱・・・1874＝37歳： ロンドン支店を開設、

初の民間工場1875＝38歳： 結婚。*台湾出兵以降、政治家や軍部と結びついて、戦争の度に巨大な利益を得て行くようになり、

西南戦争・・・1877＝40歳： 西南戦争でも大久保利通の期待に応じて活躍、

大久保暗殺・1878＝41歳： 渋沢栄一と協力して東京商法会議所(現・東京商工会議所)設立に尽力、

明治14年政変1881＝44歳：

新体詩抄・・・1882＝45歳： アメリカから発電機を輸入して{大倉組商会}に設置するとともに、{東京電灯}を設立、

岩倉具視没・1883＝46歳： 日本橋に中華料理店偕楽園設立。

秩父事件・・・1884＝47歳： 東京瓦斯会社を設立、

国民之友始・1887＝50歳： 日本土木会社}を設立、

帝国憲法発布1889＝52歳： 歌舞伎座}を建設、

帝国議会始・1890＝53歳： 帝国ホテル}を建設する一方、開設された電話の加入第一号となる。

足尾鉍毒始・1891＝54歳：

郡司千島探検1893＝56歳： 大倉組商会を合名会社大倉組に改組。

日清戦争始・1894＝57歳：

日清戦争終・1895＝58歳：

Bushidou・・・1899＝62歳： 衆議院議員選挙法改正全国商業会議所連合委員会を結成し、委員長。

ピアノ国産化・1900＝63歳： 大倉商業学校(現・東京経済大学)を設立。

当時の企業家のなかでは中国大陸への事業進出にきわめて積極的であり、

教科書疑獄・1902＝65歳： 日本人として初めて対華借款を結び、

日露戦争始・1904＝67歳： 軍需物資調達や輸送で巨利を得る。

日露戦争終・1905＝68歳： 満州で鉄鉍山の採掘に着手して、

伊藤博文暗殺1909＝72歳：

大逆事件判決1911＝74歳： *日中合弁の本溪湖煤鉄公司を設立したのはじめ、中国や朝鮮に数多くの事業をおこし、中国軍閥との関係も深く、政治的借款もしばしば供与している。この年、{大倉組}を株式会社に改組して、大倉商事・大倉鉍業・大倉土木の3社を中核とする大倉財閥の体制を確立し、

明治天皇没・1912＝75歳：

ロシア革命・1917＝80歳： 東洋古美術を展示した大倉集古館も設立している。

本格政党内閣1918＝81歳：

金融恐慌・・・1927＝90歳： 日清火災海上保険を買収して大倉火災海上保険とするなど、

共産党事件・1928＝91歳： *最後まで精力的に活動して、没した。